



平成27年2月6日

各位

上場会社名 一正蒲鉾株式会社  
 代表者 代表取締役社長 野崎 正博  
 (コード番号 2904)  
 問合せ先責任者 取締役管理部長 滝沢 昌彦  
 (TEL 025-270-7111)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年6月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,300	1,350	1,350	800	86.37
今回修正予想(B)	19,386	758	849	593	64.04
増減額(B-A)	△913	△591	△500	△206	
増減率(%)	△4.5	△43.8	△37.1	△25.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年6月期第2四半期)	18,790	1,280	1,285	859	92.80

平成27年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,500	1,350	1,350	800	86.37
今回修正予想(B)	34,700	400	400	100	10.80
増減額(B-A)	△1,800	△950	△950	△700	
増減率(%)	△4.9	△70.4	△70.4	△87.5	
(ご参考)前期実績 (平成26年6月期)	33,403	1,222	1,178	1,260	136.13

平成27年6月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,800	1,450	950	102.56
今回修正予想(B)	18,929	1,072	809	87.44
増減額(B-A)	△870	△377	△140	
増減率(%)	△4.4	△26.1	△14.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年6月期第2四半期)	18,206	1,206	832	89.85

平成27年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,400	1,450	950	102.56
今回修正予想(B)	34,000	1,100	750	80.97
増減額(B-A)	△1,400	△350	△200	
増減率(%)	△4.0	△24.1	△21.1	
(ご参考)前期実績 (平成26年6月期)	32,535	1,126	1,272	137.38

## 修正の理由

### 1. 連結

#### (1) 第2四半期業績予想

売上高につきましては、主力部門であります水産練製品・惣菜事業において、竹輪・揚物商品群が新製品の発売や製品リニューアルなどの取り組みにより堅調に推移し、おせちも前年同期比以上の販売実績となりましたが、主に調理済みおでんが予算に比べて拡販が進まなかったこと、きのこ部門において、気温の影響等による販売数量が伸びなやんだこと等により、当初予想に対しまして、減収となる見込みであります。なお、前年同期比では3.2%の増収となります。

営業利益・経常利益・四半期純利益につきましては、主に主原料のすり身やエネルギー価格の高騰に加え、原価比率の高い商品群の生産比率が高まっていることによる生産コストの上昇により、営業利益は7億58百万円(当初予想比5億91百万円の減少)、経常利益は8億49百万円(当初予想比5億円の減少)、当期純利益は5億93百万円(当初予想比2億6百万円の減少)となる見込みであります。

#### (2) 通期業績予想

売上高につきましては、水産練製品・惣菜事業において、第2四半期業績と同水準で通期も進捗するものと見込むこと、きのこ部門において、中国現地法人のマーケットへの周知不足により販売数量が予算に達しないとの予想のもと、当初予想に対しまして、減収となる見込みであります。なお、前年通期比では3.9%の増収となります。

営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、生産アイテムの集約や管理費のコストカットを進めるものの、世界的な食料需要の増加や急激な円安進行によるすり身価格の高騰・包装資材費等の上昇による影響および中国現地法人の販売数量未達に伴う創業赤字により、営業利益は4億円(当初予想比9億50百万円の減少)、経常利益は4億円(当初予想比9億50百万円の減少)、当期純利益は1億円(当初予想比7億円の減少)となる見込みであります。

なお、水産練製品・惣菜の一部商品につきまして、平成27年3月より価格改定を実施すべくお客様にご理解をいただけるよう活動してまいります。

### 2. 個別

#### (1) 第2四半期業績予想

売上高につきましては、主に「修正の理由1.連結(1)」に記載のとおりであります。

経常利益・四半期純利益につきましては、受取配当金の増加や中国現地法人への貸付金評価額に為替差益が生じたものの、「修正の理由1.連結(1)」に記載の生産コストの上昇により減益となる見込みであります。

#### (2) 通期業績予測

売上高につきましては、主に「修正の理由1.連結(1)」に記載のとおりであります。

経常利益・当期純利益につきましては、第2四半期個別業績の影響を受け減益となる見込みであります。

※上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上